



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月7日

上場会社名 株式会社 朝日ラバー

上場取引所 東

コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田崎 益次

TEL 048-650-6051

四半期報告書提出予定日 2018年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	1,943	8.8	166	14.7	179	17.6	124	18.1
2018年3月期第1四半期	1,786	23.6	145	76.3	152	109.9	105	85.2

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 93百万円 (9.2%) 2018年3月期第1四半期 102百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	27.55	
2018年3月期第1四半期	23.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	10,463	4,356	41.6	965.02
2018年3月期	10,508	4,324	41.2	958.48

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 4,356百万円 2018年3月期 4,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		6.00		14.00	20.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,876	7.4	334	23.9	328	16.1	237	29.4	52.53
通期	7,789	3.4	632	12.6	627	6.4	461	0.3	102.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	4,618,520 株	2018年3月期	4,618,520 株
2019年3月期1Q	104,572 株	2018年3月期	106,672 株
2019年3月期1Q	4,512,981 株	2018年3月期1Q	4,498,015 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」を策定し、2017年4月から第12次中期経営計画「V-2計画」をスタートしております。中期経営方針として「AR-2020 VISIONに通ずる質的成長を求めて広く社会に貢献する」を掲げ、継続的な成長を可能にする強固な事業基盤を整備し、ゴムの基礎技術と製品力を磨いて質的な成長を目指しております。

重点事業分野を車載・照明、医療・ライフサイエンス、その他の3つとし、特に研究開発として車載・照明分野では感性認知支援領域、医療・ライフサイエンス分野ではウェアラブル領域、そしてその他分野では再生エネルギー領域における研究開発を進めてまいりました。この分野では国立研究開発法人産業技術総合研究所の福島再生可能エネルギー研究所から支援いただいている「プラズマ気流制御電極の開発事業」は、平成30年度福島県産総研連携再生可能エネルギー等研究開発補助事業補助金の研究テーマに採択され、実用化に向けた実証実験を行い信頼性確保に向けた研究開発を進めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は19億4千3百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。利益面では、販売の増加や原価低減活動の継続実施等により連結営業利益は1億6千6百万円（前年同四半期比14.7%増）、連結経常利益は1億7千9百万円（前年同四半期比17.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億2千4百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車内装照明用のASA COLOR LEDの海外向けの受注や自動車用精密ゴム製品などの受注が引き続き堅調に推移しており、前年同期比で大幅に増加いたしました。また、認証・認識ビジネスに対応するRFIDタグ用ゴム製品の受注も好調に推移いたしました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は16億7千1百万円（前年同四半期比13.4%増）となりました。またセグメント利益は2億7百万円（前年同四半期比45.1%増）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、採血用・薬液混注用ゴム栓において、前連結会計年度に行われた新旧製品の入れ替えによる影響で売上高が減少しておりますが、新たに投入した製品の受注が好調であることから、今後、市場への普及が進行するにつれて回復を見込むものであります。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は2億7千1百万円（前年同四半期比13.0%減）となりました。セグメント利益は3千9百万円（前年同四半期比47.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて4千5百万円減少し、104億6千3百万円となりました。その主な要因は、借入金返済と未払法人税等の支払により、現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて7千6百万円減少し、61億7百万円となりました。その主な要因は、工業用ゴム事業の設備投資があったことで設備関係未払金が増加し、流動負債の「その他」が増加したものの、借入金返済が進み借入金残高が減少したこと及び電子記録債務が減少したこと等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて3千1百万円増加し、43億5千6百万円となりました。その主な要因は、当第1四半期連結累計期間の利益計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月14日に「2018年3月期 決算短信」で公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,849,564	2,666,943
受取手形及び売掛金	1,762,366	1,790,464
電子記録債権	233,055	233,788
商品及び製品	249,955	248,059
仕掛品	404,549	425,143
原材料及び貯蔵品	133,336	137,017
その他	87,979	114,284
貸倒引当金	△1,903	△1,850
流動資産合計	5,718,905	5,613,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,207,869	1,191,549
機械装置及び運搬具（純額）	1,305,159	1,373,396
土地	886,216	886,216
その他（純額）	202,751	222,628
有形固定資産合計	3,601,997	3,673,790
無形固定資産	92,826	95,001
投資その他の資産		
その他	1,097,976	1,083,837
貸倒引当金	△3,422	△3,422
投資その他の資産合計	1,094,554	1,080,415
固定資産合計	4,789,377	4,849,207
資産合計	10,508,282	10,463,057
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	460,512	461,905
電子記録債務	987,093	901,360
1年内返済予定の長期借入金	1,082,676	1,067,537
未払法人税等	115,031	60,332
役員退職慰労引当金	2,335	—
その他	726,105	871,753
流動負債合計	3,373,754	3,362,889
固定負債		
長期借入金	2,066,581	1,990,717
役員退職慰労引当金	89,387	—
退職給付に係る負債	631,272	643,705
その他	22,781	109,713
固定負債合計	2,810,022	2,744,135
負債合計	6,183,776	6,107,025

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	3,143,327	3,203,984
自己株式	△78,392	△76,474
株主資本合計	4,039,775	4,102,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	202,731	198,741
為替換算調整勘定	82,000	54,939
その他の包括利益累計額合計	284,731	253,681
純資産合計	4,324,506	4,356,031
負債純資産合計	10,508,282	10,463,057

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
売上高	1,786,699	1,943,690
売上原価	1,320,256	1,432,210
売上総利益	466,442	511,480
販売費及び一般管理費	320,997	344,726
営業利益	145,445	166,753
営業外収益		
受取利息	556	541
受取配当金	2,907	3,521
為替差益	195	5,342
雑収入	8,629	8,104
営業外収益合計	12,288	17,509
営業外費用		
支払利息	3,394	2,627
障害者雇用納付金	1,300	1,450
雑支出	640	1,016
営業外費用合計	5,334	5,093
経常利益	152,399	179,169
特別利益		
補助金収入	—	7,998
特別利益合計	—	7,998
特別損失		
固定資産除却損	7,643	0
固定資産圧縮損	—	7,474
特別損失合計	7,643	7,474
税金等調整前四半期純利益	144,755	179,693
法人税等	39,521	55,370
四半期純利益	105,234	124,323
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,234	124,323

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
四半期純利益	105,234	124,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,251	△3,989
為替換算調整勘定	△18,726	△27,060
その他の包括利益合計	△2,475	△31,049
四半期包括利益	102,759	93,273
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,759	93,273

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2017年4月1日至2017年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,474,213	312,485	1,786,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,474,213	312,485	1,786,699
セグメント利益	142,992	74,141	217,134

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	217,134
全社費用（注）	△71,689
四半期連結損益計算書の営業利益	145,445

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,671,699	271,991	1,943,690
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,671,699	271,991	1,943,690
セグメント利益	207,471	39,124	246,595

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	246,595
全社費用（注）	△79,841
四半期連結損益計算書の営業利益	166,753

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。